

いしのまき

No.
70

議会だより

令和3年11月25日発行

第3回定例会	2
各常任委員会審査報告	4
20人が一般質問で市政を問う	8
トピックス	18



ふたば保育所の児童が市特産品のクジラ肉をおいしくいただきました。

3 例会 第3 定例 令和2年度決算や条例、補正予算 など46件を認定・可決・承認、1 件を継続審査

第3 回定例会に提出された議案と審議結果

令和3年第3 回定例会を、9月2日から22日までの21日間の日程で開催し、決算認定3件、市長提出議案42件、委員会提出議案1件、議案案1件を審議しました。審議の結果、市長提出議案のうち、石巻市立病院倫理委員会条例の一部を改正する条例については、起立による採決の結果、閉会中の継続審査とすることになりましたが、そのほかの議案等は原案のとおり可決しました。

決 算 (認定)

- 令和2年度
- 石巻市一般会計及び各種特別会計決算認定について
- 石巻市病院事業会計決算認定について
- 石巻市下水道事業会計決算認定について

予 算 (原案可決)

- 令和3年度
- 石巻市一般会計補正予算(第4号)
- 石巻市一般会計補正予算(第5号)
- 石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第2号)



大森 秀一 議長

条 例 (原案可決)

- 石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市下水道事業会計補正予算(第1号)
- 石巻市企業立地等促進条例
- 石巻市市税条例の一部を改正する条例
- 石巻市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例
- 石巻市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市上釜ふれあい広場条例の一部を改正する条例
- 石巻市損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市営住宅条例の一部を改正する条例
- 石巻市消防団条例の一部を改正する条例

条 例 (継続審査)

- 石巻市立病院倫理委員会条例の一部を改正する条例

そ の 他 (承認・原案可決)

- 専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(石巻市手数料条例の一部を改正する条例)
- (令和3年度石巻市一般会計補正予算(専決第2号)(令和2年度石巻市下水道事業会計利益剰余金の処分について)
- 第2次石巻市総合計画基本構想及び基本計画について(新市まちづくり計画の変更)について
- 財産の取得について
- (小型動力ポンプ付積載車(石巻地区分及び河南地区分)(小型動力ポンプ付積載車(河北地区分))
- 工事請負の契約締結について
- (山崎馬鞍線(馬鞍工区)橋梁新設工事)
- (七窪蛇田線橋梁上部工新設(その2)工事)
- 工事請負契約の一部変更について
- (長面地区低平地整備(その2)工事)
- (石巻工業港運河線橋梁下部工新設工事)

- (石巻工業港運河線道路新設及び橋梁上部工新設工事)
- (釜大街道線橋梁上部工新設(その1)工事)
- (石巻市遊楽館屋根改修工事)
- (23年災明神漁港海岸保全施設災害復旧(その2)工事)
- (吉浜橋橋梁災害復旧工事)
- (金華山公園線道路災害復旧工事)

訴えの提起について

- あらたに生じた土地の確認について 2件
- 字の区域を新たに画することについて
- 字の区域を変更することについて 2件
- 市道路線の認定について
- 市道路線の廃止について
- 市道路線の変更について

人 事 (異議がない)

人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて

浮津由巴氏、田中憲夫氏、三浦直人氏、阿部悟氏、小松龍哉氏を推薦することに異議がない。

委員会提出議案 (原案可決)

「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」

議 会 案 (原案可決)

6番黒須光男議員に対する問責決議の提出について



遠藤 宏昭 副議長

第3回定例会で可決した議案の中から主な内容を紹介します。

可決した条例から

◆石巻市企業立地等促進条例

被災市街地復興土地地区画整理事業で整備した産業ゾーン等への更なる企業立地を促進するため、助成対象となる指定企業者要件を見直し、用地取得費助成金や情報関連・バックオフィス等企業立地促進助成金などの新たな助成制度を創設するほか、既存制度について見直しを行うため、「石巻市企業立地等促進条例」の全部を改正し、新たに本条例を制定するもの。

◆石巻市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

子育て世代の経済的負担の軽減を図るとともに、少子高齢化や震災後の人口流出が続いていることから、若い世代の定住を促進し、より子育てしやすい環境を整備するため、医療費助成対象年齢を18歳まで拡大するため、本条例の一部を改正するもの。

可決した補正予算から

一般会計補正予算（第4号）は、令和2年度決算に係る各種事業等の精算に要する経費のほか、新型コロナウイルス感染症対策、学校施設や通学路の安全対策及び各施設の災害復旧に要する経費などの所要額を措置したのもの。

一般会計補正予算（第5号）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、まん延防止措置及び緊急事態措置に伴う宮城県知事からの営業時間短縮要請及び休業要請に全面的に協力した事業者に対する協力金支給に要する経費のほか、感染症拡大の影響により収入の減少した市内中小企業者に対する事業継続支援金の支給及び学校や放課後児童クラブにおける児童生徒の感染症対策に要する経費の所要額を措置したのもの。

◆総務費では

- ・非接触型納付環境の整備に要する経費
- ・地区へ無償譲渡予定の名振地区コミュニティセンターの修繕に要する経費

◆民生費では

- ・高齢者施設等防犯防災対策等事業費補助金
- ・養育支援を必要と判断した家庭に対する家事・育児支援等に要する経費
- ・放課後児童クラブ利用児童の感染症拡大防止対策として、抗原検査キット購入等に要する経費

◆衛生費では

- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制変更等に要する経費

◆労働費では

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により離職を余儀なくされた方等の早期再就職を促進するため、宮城県の正社員雇用奨励金を支給された事業所に対し、上乗せ交付する補助金

◆農林水産業費では

- ・大吉野ため池改修に係る設計に要する経費

◆商工費では

- ・石ノ森萬画館開館20周年記念事業として行う、開館当時から映像作品のリニューアルに要する経費
- ・感染症拡大の影響により収入の減少した市内中小企業者、市内観光関連産業事業者に対する事業継続支援金の支給に要する経費

◆土木費では

- ・千葉県八街市の通学路での死傷事故を受け、通学路の安全確保を図るための緊急修繕等に要する経費
- ・木造住宅耐震診断、危険ブロック塀除却等事業補助金

◆教育費では

- ・中津山第一小学校暖房設備改修及び石巻小学校受水槽改修に要する経費
- ・小・中学校屋内運動場照明器具等の落下防止対策兼LED化工事費
- ・児童、生徒の感染症拡大防止対策として、抗原検査キット購入等に要する経費

◆災害復旧費では

- ・令和3年5月1日発生の宮城県沖を震源とする地震に伴う災害復旧費（牡鹿地域拠点エリア・家族旅行村）
- ・令和3年3月20日発生の宮城県沖を震源とする地震に伴う河川災害復旧費

各常任委員会審査報告

9月3日の本会議で、決算や条例、補正予算などの議案が審議され、各常任委員会に付託されました。審査されたことの中からいくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

条例・補正予算等審査

総務企画委員会



奥山浩幸 委員長

石巻市市税条例の一部を改正する条例について

Q 改正による令和4年度税収額への影響について伺う。

A 1年間当たりの想定で、個人市民税は、約1千万円の減収、法人市民税は、約3800万円の増収となる。

石巻市消防団条例の一部を改正する条例について

Q 消防団員報酬の改定に向けた検討について伺う。

A 来年度に向けて、年報酬、出場報酬などの報酬金額の改定を検討しており、併せて団員への報酬の直接支給についても検討している。



市消防団

令和3年度石巻市一般会計補正予算(第4号)

Q 震災遺構門脇小学校の入館料の考え方について伺う。

A 館内展示の更新や改修等を含む施設の維持管理費が生じるため、料金を徴収していく考えである。

第2次石巻市総合計画基本構想及び基本計画について

Q 達成状況に応じたKPIの設定変更について伺う。

A 外部委員を交え、内容を評価・検証し、KPI、KGIの設定変更も含めて基本計画を進めていく。

新市まちづくり計画の変更について

Q 合併特例債の活用について伺う。

A 現行の起債発行可能額である約350億円から、法定上の発行可能額である約500億円を上限に変更することになるが、地方債に過度

に依存することなく、有効に活用すべく財政運営に努める。

環境教育委員会



阿部久一 委員長

令和3年度石巻市一般会計補正予算(第4号)について

Q 石巻地方広域水道企業団に対する負担金の概要について伺う。

A 3号配水池の耐震補強工事に係る補助対象事業費の繰り出し額を、本市と東松島市で負担するものであり、負担割合は本市が79・15%、東松島市が20・85%である。

Q 小学校施設維持整備費及び小学校照明等落下防止対策事業費の内容及び学校施設整備保全計画との関連について伺う。

A 施設維持整備費は中津山第一小学校のボイラーが故障し、早急に対応するための改修費である。照明等落下防止対策事業費は本年、白石市の防球ネット倒壊事故を受け、照明の落下等に対して改修費用の国庫補助があるため、令和4年度、5年度に予定していた改修を前倒しで実施するも

のであるが、どちらも、学校施設整備保全計画に掲載のない内容である。

Q 総合運動公園管理費の内容について伺う。

A 企業等の広告を募集するにあたり、石巻市民球場のラバーフェンスを塗装するための修繕料である。

Q 広告募集の場所や応募の見込みにについて伺う。

A 募集する場所は、石巻市民球場と河南中央公園野球場の2箇所、河南中央公園野球場はすでにラバーフェンスを塗装していたため、改修費用がかからない。応募見込みについては、昨年の12月から6月にかけて、市内の法人に対して意向調査を実施した結果、石巻市民球場は13社、河南中央公園野球場は2社の希望があった。なお、500万円の修繕料をかけても、4年で採算が取れると想定しており、来年の2月頃に募集を開始し、全て埋まるように努力していく。



市民球場広告募集イメージ

保健福祉委員会



佐藤雄一 委員長

石巻市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について

Q 医療費助成の状況及び改正による増加見込みについて伺う。

A 扶助費の令和2年度実績は、3億4900万円である。また、対象年齢を18歳まで拡大することによる増加額は、約7000万円を見込んでおり、対象人数も、令和3年度末から、約3450人の増加を見込んでいる。

Q 医療費助成の充実の考え方に
ついて伺う。

A 子育て世代の経済的負担の軽減や、若い世代の定住の促進、より子育てしやすい環境の整備のため、助成対象を拡大するが、本来は国が確立すべきものである。

また、県に対し、補助対象年齢の拡充等について、今後も引き続き要望していく。

令和3年度石巻市一般会計補正予算(第4号)について

Q 本市におけるワクチン接種完了時期について伺う。

A 10月末までの接種完了を目指しているが、さまざまな事情により、11月以降に接種する方も出てくると思われるため、医師会や石巻赤十字病院等と調整しながら、接種体制を検討していく。

Q 若年者のワクチン接種率について伺う。

A 10代の方々の接種率は、令和3年9月6日時点で、約21.75%となっている。



新型コロナウイルスワクチン接種会場

産業建設委員会



阿部浩章 委員長

石巻市企業立地等促進条例について

Q 条例の周知方法について伺う。

A 企業向けの手引きや立地条件ごとのリーフレットを作成して分かりやすく説明していく。

Q 用地の販売価格の設定について伺う。

A 産業ゾーンにある民有地との価格の均衡を考慮し、立地企業に対して、用地販売価格の値引きではなく、用地取得費助成金の交付によって支援していく。

令和3年度石巻市一般会計補正予算(第4号)について

Q 捕鯨活動推進事業費の内容について伺う。

A 本年11月17日に開催される全国鯨フォーラムの負担金であり、震災から10年を迎え、商業捕鯨が再開し、おしかホエールランドも全面オープンしたことなどにより、本市で開催される運びとなった。



大型捕鯨船 第十六利丸

Q 市道管理関係費では、通学路の修繕件数について伺う。

A 教育委員会からの修繕依頼が29件あるが、そのうち5件は修繕が終了しており、今年度中に10件の修繕を行う。残りの14件は来年度以降の修繕を予定している。



議案審査の様子

決算審査

令和2年度石巻市一般会計及び各種特別会計決算認定

総務企画委員会

訴訟関係の費用について

Q 2000万円余りの予備費費用について何う。

A 主に本市が被告である訴訟関係費用の委託料、補償補填及び賠償金に充用している。

Q 議員が関係する訴訟費用について何う。

A 令和元年度から令和3年9月現在までに支出が確定している訴訟関係費用3062万3357円のうち、同一議員が原告となっている訴訟の関連費用としては、合計658万7023円となっている。今後、判決が確定した際は、概ね着手金の約2倍の報酬金が支出される見込みである。

意見

議員に起因する訴訟においては、経過報告だけではなく、市の訴訟費用の負担はどれくらい生じることになるか議会に報告していただきたい。

石巻市営住宅管理運営基金について

Q 低金利であるため基金を取り崩し、地方債の繰上償還に充て

るなど、返済計画を比較検討することについて何う。

A 復興公営住宅建設のために増大した公営住宅建設事業債は、国の財政融資資金を借用しており、繰上償還する場合は国へ補償金を支払う必要があるが、財政負担の軽減に繰上償還は有効な手法であり、さまざまな返済パターンを比較し、市にとつて有利となるものを検討している。

大川地区高台広場について

Q 大川地区高台広場までの道路が狭あいで、急カーブもあることから、安全面の対応について何う。

A 緊急時の避難を優先した高台広場への通路で、道路法上の規格では整備していないが、安全性向上のため、カーブミラーの設置や冬季の融雪など、関係課と協議、検討する。



大川地区高台広場 現地視察

環境教育委員会

町内会等が実施する側溝清掃について

Q 町内会等が実施する側溝清掃の件数及び報奨金の支給実績について何う。

A 清掃の件数は、令和2年度が63件、令和元年度は85件であり、報奨金の支給実績は、令和2年度が24団体に対して12万円、令和元年度は22団体に対して11万円を支給している。

Q 側溝清掃時に使用する側溝の蓋上げ機の所有台数及び貸出し台数について何う。

A 所有台数は4台で、貸出し台数は、令和2年度が20台、令和元年度が16台であり、今後、多く利用してもらえるように、情報発信の仕方を考えていく。

一般廃棄物最終処分場の整備について

Q 基本設計及び実施設計の金額について何う。

A 基本設計は3264万8千円であり、実施設計については、設計施工を一括で行っているため区別していないが、契約時、請負業者に参考として求めた埋立建設分の実施設計相当金額は、8千万円である。

特別支援教育事業について

Q 令和2年度の支援員配置希望に対する配置率が50%であったことから、今後の対応について何う。

A 年々3名ずつ増員を続けているが、支援が必要な子供達は増

加傾向であり、今後充足できない部分が出てくることも想定される。これは全国的な問題であることから、他市町村等とも連携しながら国に財政的な支援等を求めていく。

総合体育館について

Q 総合体育館のコロナ対策事業費の概要について何う。

A 新型コロナウイルスの影響により、昨年の4月、5月の閉館の協力要請に伴う指定管理料の補填分である。

なお、トレーニングセンターは1カ月遅れて再開していることから、3カ月分の指定管理料の補填である。

反対討論(黒須光男議員)

一般廃棄物最終処分場建設事業費について、疑念が深まっていることから、本決算認定に反対である。

採決

起立採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。



マルホンまきあーとテラス 現地視察

保健福祉委員会

奨学金返還支援事業について

AQ 奨学金返還支援事業の実績について伺う。

令和2年度までに、奨学金返還支援事業助成金を交付した人数は累計で150人、金額は累計で4741万5千円である。

AQ 今後の制度の存続について伺う。

令和4年度には、当初の目標人数に達する見通しであるが、対象となる職種のうち、介護分野が人材不足であるという現状や、他市町村においても、同様の制度を設けているところが多いことから、目標達成後も、職種ごとの状況を見据えながら、制度の存続について検討していく必要があると考えている。

石巻市病院事業会計について

AQ 令和2年度収支の状況について伺う。

医業収支比率が50%台と低く、危機的な状況であると認識している。

AQ 石巻市新公立病院改革プランの今後の継続について伺う。

令和2年度は、当プランの最終年度であり、現在、4年間の内容を取りまとめ、検証を行っている。令和3年度以降の国の方針は示されていないが、病院独自に、医業収支を改善するためのプロジェクトを作り、取り組んでいる。

石巻市立牡鹿病院について

AQ 牡鹿病院の経営状況と、その在り方について伺う。

人口減少に伴い、患者数も減少しているため、収益を増加させるべく大変厳しい状況であることから、経営コンサルタント等と協議しながら、将来の方向性を見出していきたい。



「いっしょいっしょ」 えきまえ 現地視察

産業建設委員会

林業振興について

AQ 森林育成事業衛生伐倒駆除の件数および補助割合について伺う。

南境地区・風越地区・清崎地区が2834本、田代島地区が773本の合計3607本を駆除した。事業費の補助割合については、松くい虫伐倒駆除事業費が県から50%、樹幹注入剤による松林保全対策事業が県から50%、松くい虫防除事業が国・

県あわせて75%、森林育成事業衛生伐倒駆除が国・県あわせて70%である。

水産業振興について

AQ 磯焼け対策について伺う。

主な原因と考えられるウニの駆除を進めており、併せて経済産業省の補助金を活用して、駆除したウニを田代島で陸上養殖する実証実験を進めている。今後この実証実験の知見をまとめ、市内各漁業協同組合支所にも広めていきたい。

オリブ事業について

AQ オリブ事業の民間移行の推進について伺う。

令和3年9月1日に石巻市オリブ事業の民間移行に係る公募型プロポーザル選定委員会を開催し、事業継承者が選定され、継承の手續きを進めており、今年度の収穫、販売については選定された事業者が行うこととなっている。

また、北上町にあるオリブ加工施設の使用について質疑があり、当面施設の利用は無償と考えているが、動力光熱費等は利用者が負担するように協議している。

水辺の緑のプロムナード整備事業について

AQ 国の堤防整備と連携した事業推進について伺う。

現在「いしのまき元気いちば」の前の堤防一体空間を民間事業者が借用して営業活動を行う社会実験をしており、今後、指定の本申請に向けて国と協議していく。

日和山公園の管理について

AQ 日和山公園トイレバリアフリー化工事における視覚障害者用点字ブロックの配置について伺う。

福祉団体との意見交換や県条例に基づき、点字ブロックの配置を行っている。

下水道事業会計について

AQ 企業会計に移行しての今後の課題について伺う。

収益確保のため、まず、水洗化率の向上、次に収納率の向上、次に有収率の向上の優先順位で取り組む考えである。水洗化率の向上については、公共下水道が供用開始した地区の未接続者に資料を配布して、公共下水道への接続を促し、収納率の向上については、徴収員を活用しながら方策を検討していきたい。



石巻かわみなと大橋 現地視察

一般質問

議員20人が登壇 市政を問う!

第3回定例会の一般質問は、20人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をただしたり、政策提言を行いました。

その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

議論の様子は、録画映像でもご覧になれます。

本紙面から、各議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問を動画で見ることができます。(視聴にかかるデータ通信料金などの費用は、ご本人の負担となります。)

一般質問通告一覧

※議員名の前に付いている番号は、質問順序です。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため本定例会も答弁を含め、1人50分の質問時間となっています。

①阿部 浩章 (ニュー石巻) 1 地域経営の視点から 2 行政経営の視点から	⑪阿部 久一 (ニュー石巻) 1 市政運営について 2 行財政改革について
②齋藤 澄子 (日本共産党石巻市議団) 1 コロナ禍の中での市民生活の状況について 2 学校校則の見直しについて 3 復興住宅家賃減免について 4 災害対策について	⑫佐藤 雄一 (ニュー石巻) 1 教育関係について 2 2050年ゼロカーボンシティの表明について 3 河南地区の諸課題について
③森山 行輝 (ニュー石巻) 1 稲井地区の諸課題について	⑬山口 荘一郎 (創生会) 1 コロナ禍における各種事業の継続について 2 石巻市社会教育・体育施設等適正配置及び長寿命化計画について
④鈴木 良広 (公明会) 1 プラゴミ削減の取り組みについて 2 災害時におけるドローンの活用について 3 住宅再建事業について	⑭櫻田 誠子 (公明会) 1 コロナ感染症対策について 2 婚姻率の向上について 3 3歳児健診時の見え方検査について
⑤千葉 正幸 (ニュー石巻) 1 齋藤正美市長の公約について	⑮阿部 正敏 (創生会) 1 女川原発と牡鹿地区における地域住民の関わり方 2 県道石巻鮎川線(県道2号線)整備の進め方について
⑥星 雅俊 (創生会) 1 公共施設の指定管理者制度の各種問題について 2 所信表明の「行政の役割は、市民サービスが基本」とする行財政運営について	⑯西條 正昭 (創生会) 1 人口減少対策について 2 三陸沿岸道路(利府中～鳴瀬奥松島間)無料化について 3 新旧北上川、下流域濁流対策について
⑦奥山 浩幸 (ニュー石巻) 1 通学路の安全対策について 2 校則(生徒心得)について 3 障害者の就労支援について	⑰青山 久栄 (創生会) 1 移転元地等利活用推進について 2 北限のオリーブ実証栽培終了後の展開について 3 移住・定住対策について
⑧高橋 憲悦 (ニュー石巻) 1 深刻化するコロナ禍の中、新しい石巻市を創るための市長の政治姿勢について	⑱高橋 栄一 (創生会) 1 地域の宝研究開発事業について 2 企業誘致と雇用の確保について
⑨千葉 眞良 (創生会) 1 子ども医療費の助成制度拡充について 2 石巻市公立幼稚園・保育所・こども園の再編計画について 3 国道398号の大門崎から東側の未改良について 4 先日開設された南浜マリナーについて	⑲後藤 兼位 (創生会) 1 復旧・復興加速の課題と行財政運営について
⑩水澤 富士江 (日本共産党石巻市議団) 1 被災者生活再建支援について 2 石巻市図書館をより良くしていくために 3 市民に寄り添った下水道整備について	⑳黒須 光男 (無会派) 1 中央一丁目14・15番地区における市街地再開発事業について 2 湊東地区買取住宅建設事業について



阿部 浩章 議員

ニュー石巻



地域経営の視点から

問 「地域経営」では、地域住民が自助・共助を最大限發揮し、持続的發展を目的とするため、行政の縦割り展開される類似した制度等には横串を入れ、整理・再編して一元化することも含むものと考えている。地域福祉計画の包括的支援体制整備は、高齢者福祉計画、地域包括ケア実施計画、生涯学習基本構想等とどのような関係調整をしているか伺う。

答 地域福祉委員会委員の中には、関連計画等に関する審議会の委員の方々もおり、多角的な視点により、ご意見やご提案をいただきながら、策定して参りたいと考えている。

行政経営の視点から

問 旧態の枠組みでは、組織運営においても「質の高い行政サービス」が困難であることから、組織改革が急務と考えている。組織改革の状況について伺う。

答 基本的には組織のスリム化を図り、本市の重要課題である人口減少対策や地方創生への取り組みにも対応した、将来を見据えた組織改編も併せて行い、効率的で効果的な組織としていく。

問 管理部門（企画、財政、人事）の有機機能をもどのように検討しているか伺う。

答 組織、人事、財政等が有効に連携できるよう、組織改編の中で有機的機能の在り方を検討していく。



齋藤 澄子 議員

日本共産党 石巻市議団



コロナ禍の中での市民生活の状況について

問 ワクチン接種と並行して、PCR検査を。また、自宅療養で不安を抱えないよう石巻圏域に宿泊療養施設を設置するべきでは。

答 県や医師会と連携し、設置に向けて調整中。

問 収入が激変し、災害援護資金の返済に困っている方への手立ては。

答 少額納付などの対応をしながら、相談に応じる。

学校校則の見直しについて

問 桜坂高等学校の髪色の校則が厳しすぎる。また、中学生の暑い日でも、ワイシャツの中への半袖半ズボン着用の慣行は暑くて困る。更衣室の活用を。

答 生徒の意見要望を尊重し、生徒と共に生徒の心得や服装規定を検討するよう働きかける。

復興住宅家賃減免について

問 家賃が上がる事は、被災者にとって耐えられず、不満、混乱が出る。家賃減免を延長すべきでは。

答 収入に応じて家賃を算定。生活に困窮している場合は、個別に相談していただきたい。

災害対策について

問 土砂災害等、想像を超える災害に備え、命を守る対策の考えは。

答 避難先、避難経路を常に把握するための施策など住民の安全安心につながる周知策を現在検討している。

問 女川原子力発電所での災害時、避難先は足りない。今後どのように対応するのか。

答 市長自ら加美町を訪問し、避難受け入れ人数の増加について町長の了解を得た。今後も避難先市町村に向き、避難受け入れ態勢の向上に努める。



森山 行輝 議員

ニュー石巻



稲井地区の諸課題について

問 国道398号石巻北部バイパスについて。

① ルート変更により、期間で10年、総費用で200億円との情報があるが真偽の程は。

② 沼津貝塚の近くを通る事により、遺跡が出てくると工事が遅れる事象が生じる。遺跡調査の可能性について伺う。

③ このバイパスは、現状においても朝夕の混雑が顕著である。原発の避難道路でもあり、今から対応を考えておく必要を指摘しておく。都市計画道路中里南境線の整備も必要。避難道路が苦難道路とならないよう願いたい。

答 第3期工区沢田工区について、宮城県において事業化に向けた調査等を進めている。このバイパスは、女川町や本市東部地域と三陸沿岸道路を繋ぐ重要な路線であり、交通が集中するため、引き続き県に対応を要望する。

問 市の霊園の管理について、民間委託にすべきと訴えているが、現状について伺う。

答 霊園等の管理については、現状4名の職員を配置し、業務を行っている。さまざまな課題の中で適正な管理を目指して取り組んでいる。民間委託については、適正管理に向けた取り組みの中で委託の方向性も考える。

問 マルホンまきアートテラス複合文化施設内の博物館オープンに際し、外部委託していた毛利コレクション等について開館に間に合う状況になっているのか伺う。

答 移送を含め、開館に向け鋭意準備をする。



鈴木 良広 議員

公明会



プラゴミ削減の取り組みについて

問 本市の現状と今後の削減策について伺う。

答 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が令和4年4月から施行となり、家庭から排出されるプラスチック容器や包装類は「プラスチック資源」として新たに分別回収が求められている。本市でも回収方法について検討している。マイバッグ持参の推進やレジ袋削減を図るPR活動に、なお一層取り組む。

災害時におけるドローンの活用について

問 全国各地で災害が頻発している。迅速な被害確認や情報収集のために、ドローンを活用すべきと考えられているが所見を伺う。

答 災害対応を迅速に進め、2次被害を減らすことにつながるなど、有用性について認識している。運用については「天候に左右される」「飛行禁止区域の制限」など課題もあることから、民間事業者の支援協力や関係機関との連携も視野に入れ、検討する。

住宅再建事業について

問 コロナ禍の影響により建築用木材の供給が追いついていない。住宅補助事業の申請期限が令和4年2月15日までだが、申請期限が間に合わないのではとの相談も今後の見直しについて伺う。

答 住宅再建事業補助金の申請期限延長の問い合わせは28件、そのうち17件がコロナ禍や木材高騰による補助金申請を危惧する内容。今後も延長の必要性について、国や県に対し継続して要望する。



千葉 正幸 議員

ニュー石巻



市長公約「桃生豊里インター周辺に産業団地の形成」について

問 桃生地区は、これまで二度も市長の選挙公約「桃生道の駅」で、選挙の度に期待を持たされてきたが、実現しない苦い過去がある。合併は桃生にとって良かったのかと疑問視する声も少なくない。齋藤市長の公約に3度目の桃生を特定する公約「桃生豊里インター周辺に産業団地の形成」は、数ある公約のうち地域を名指した公約はただ一つで、合併後16年の間、ほとんど時間が止まっている桃生地区の人達は三たび心を躍らされた。私は常々、意志の強さは行動に比例すると思っている。市長が約束した「桃生豊里インター周辺に産業団地の形成」。市長の意志の強さと本気度について伺う。

答 企業誘致を行うに当たり複数の提案する用地があれば、事業者側の選択肢も増えるので、桃生地区も含め、産業団地形成に必要となる調査を進める。

問 私は桃生地区を含めなどと聞いているのではなく、公約を実施するのか、しないのかを聞いている。市長に改めて伺う。

答 桃生の皆さんが、桃生にもこういうものができたとやる様に、実現に向けてしっかり取り組んで行く。

問 来年、私達は選挙がある。再び議場に席を頂けたなら桃生地区市民目線で「桃生豊里インター周辺に産業団地の形成」について今後も進捗状況を質問する。



星 雅俊 議員

創生会



公共施設の指定管理者制度の問題について

問 指定管理料の精算方法と不可抗力の「消費税」「新型コロナウイルス感染症の減収」の負担と予算措置の考え方について伺う。

答 指定管理料は、各年度単位で年度協定により定めて、精算で返還を求めることは、事業者の縮減意欲の低下につながり原則的には行っていない。「新型コロナウイルス感染症の減収」は、一昨年度、昨年度に各施設に必要な予算措置を行った。

問 市の補填措置は、各施設で格差があり、民間感覚で利用者利用に努力をしている施設ほど、コロナの影響が大きい。施設運営に支障が出ないように早急な措置が必要ではないか。

答 減収だけでなく特殊事情での増収もあるので、総合的に検討する。

所信表明の「行政の役割は、市民サービスが基本」とする行財政運営について

問 公約を含めた事業の優先順位、事業の改廃をどの様な手法で市民ニーズを把握し、行政運営に反映させるのか。

答 効率的かつ効果的な行政サービス提供のため、広報誌やホームページ等で情報発信を強化し、市長への手紙や動く市長室の実施など、広聴事業の充実に取り組む。

問 一事例として、自治会等の苦情、要望に市からなかなか返事が来ない。相談者の気持ちを察すれば、早期に返事することが住民サービスの基本ではないか。

答 そのとおり。しっかり取り組む。



奥山 浩幸
議員

ニュー石巻



通学路の安全対策について

問 合同点検で抽出した危険箇所が、未解決となっている。通学路の安全対策は、歩行者と車を完全に分けるのが理想だが、これらを行うには土地の確保など多額の費用が予想される。費用と時間がかかる案件は、まずは効果を上げるため創意工夫し、何らかの応急的な対策が必要ではないか。

答 要望して実施困難か時間を要する場合は、路面にドライバートの注意を促すような標識や、外側線・グリーンベルト等による歩行者の安全確保に向けた代替策を検討し、実現可能なものから対応していく。

問 危険箇所の対策は、ハード事業等に時間を要する場合、通学路の見直しや地域の見守り活動、警察の取り締まり強化などソフト対策も必要ではないか。

答 交通状況によって警察に取り締まりを依頼し、どうしても危険が解消されないと判断した時は、より安全な経路に通学路を変更する。

障害者の就労支援について

問 障害者就労施設等から受注機会を高めるには、行政の都合だけでむやみに発注しても、受託側の実態を把握しなければ調達実績に結びつかない。関係団体と積極的に情報交換を行い、年間を通して契約できるような優先調達の仕組みを考えるべき。

答 全庁的に優先調達に取り組むため、情報共有が必要である。障害者就労施設への業務が円滑に行われ、安定した仕事を提供する仕組みを検討していく。



高橋 憲悦
議員

ニュー石巻



深刻化するコロナ禍の中、新しい石巻市を創るための市長の政治姿勢について

問 「議会での約束は、市民との約束」という認識を再確認していただきたいが。

答 市民から負託されたという観点からも、議会で発言の重さ、約束の厳守、当然である。

問 テレビ共同アンテナ組合への改修時の助成について、前の議会でも約束されており、助成の開始時期について、明確に示して欲しいが。

答 地域にとって深刻問題であり、議会と市民との約束である。令和4年4月1日から助成開始するよう準備を進めている。今年度中に改修を検討の組合は、助成要綱等の作成のため、もう少しお待ちいただきたい。

問 前亀山市政の継承で、市長選を勝ち上がりましたが、前市政の「正すべきこと、負の遺産」となっている事務事業は継承せず、徹底的な見直しをすべきだと思っております。特に、地域自治システムについての所見は。

答 御指摘のとおり、改めなければならないものは積極的に改善する。地域自治システムは、ネーミングを含めて、地域の実情等を踏まえ、本格的な検証と検討を行いたい。

問 平成の大合併、東日本大震災からの復興。コロナの中、「新しい石巻市」を創るに当たり、石巻市民の原点は、平成20年に制定した「石巻市民憲章」である。それを、確認する意味で、朗読して頂きたい。



千葉 眞良
議員

創生会



問 子ども医療費の助成制度拡充について、今後のスケジュールはどうなっているのか。

答 本年12月以降に受給資格の事前登録を開始し、令和4年第1回定例会に予算案を提案し、3月中に対象者へ受給者証を送付する予定。

問 子育て世帯への影響は。

答 新たに対象となる人数を約3500人、助成費の増額は年間7000万円を見込んでおり、1人当たり年間2万円の経済的負担軽減になると共に、安心して子育てができる環境が整備され、移住・定住の促進が図られるものと考えている。

問 市長の所信表明のうち、最も難しい医療費拡充18歳までが無料となるが、今後の課題として「0歳・1歳・2歳児」の支援拡大について、市長の考えは。

答 必要と考えているが、今後、内部で検討を重ねていきたい。

問 国道398号の未改良箇所について、湊小と湊二小が統合され、2学期より徒歩通学となる。安全は確保されているのか。

答 学校、道路管理者および教育委員会が合同点検を実施し、安全指導の徹底など行っていく。

問 一部歩道のない南側の部分については、何とかならないのか。

答 現地にて、市および県と現場を見ながら、協議をしたい。

問 先日設置された南浜マリナーへの案内板の設置は、いつ頃になるのか。

答 新たな観光資源の一つとして、「海の駅」への登録を予定しており、これに併せて検討する。



水澤富士江 議員

日本共産党
石巻市議団



被災者生活再建支援について

問 災害復興住宅収入超過世帯への対応について、割増家賃据え置き延長を。

答 今後、判断していく。

問 収入超過者など、悩んだ末に住宅再建しようとしても、国の加算金は4月に終了。市独自の補助制度も、令和4年2月15日申請締め切りだが、ウツドシヨック等で工期が遅れ、業者からも悲鳴があがっている。財源となる基金残高は、何としても制度の延長を。

答 基金残は、今年度末の見込みは約15億円。9月議会終了後、国（総務省）へ強く要望する。

石巻市図書館をより良くしていくために

問 現状について伺う。

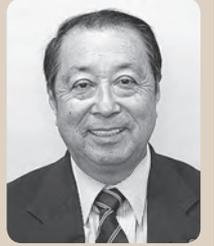
答 昭和48年開館、築48年。増改築冷暖房の更新をしながら使用している。利用者は、年間約8万人、一日あたり330人程。蔵書数は、開架9万7千冊、書庫に8万3千冊、合計18万冊。郷土資料、震災関連資料の積極的収集を行っている。

問 施設の長寿命化、窓口の一部民間委託が予定されているが、「図書館協議会」を設置し、さらに充実化を。検討する。

市民に寄り添った下水道整備について

問 私道の下水道埋設について、相続人がわからない等、地権者全員の同意が得られない場合の対応について。

答 国の示す「所有者不明私道への対応ガイドライン」に基づき手続きを軽減していく。



阿部 久一 議員

ニュー石巻



市政運営について

問 齋藤市長が目指す「石巻」のキャッチフレーズは何か。

答 「活力に満ち、市民が住むことに誇りを持つまち。」

問 移動市長室の再開目的は。

答 市民の声を直接聴くことのできる重要な手段であり、開催方法等については検討する。

問 「地域自治システム」の進め方について。

答 これまで進めてきた中で課題の整理を行った上で、今後の取り組み方針を決定する。

問 「おがつの匂い」開催までの雄勝総合支所の相談支援体制の不備と、市道「大須崎灯台線」完成式典の未開催の理由は何か。

答 今後は、相談支援体制の充実を図ると共に、令和4年度に「大須崎灯台」において、何らかのイベントを検討する。

行財政改革について

問 クラウドファンディングの実施事例は。

答 本年3月～6月まで、震災伝承施設の運営費をテーマに、ふるさと納税と連携して、全国595人の方々から539万9千円の寄付金が寄せられ、今後、ふるさと納税と共に検討する。

問 未利用地財産の売り払いの把握調査は。

答 早い時期に、地域の皆様に制度内容の説明を行い、移転元地利用の意向についても把握したい。

問 公用車の保有台数は。

答 公用車580台うち、消防自動車や特殊車両等を除くと359台である。リース自動車の削減を図る等、保有台数の適正化に努める。



佐藤 雄一 議員

ニュー石巻



教育関係について

問 一人一台配られた端末はどのようなルールで使われるのか。

答 「石巻市タブレット端末貸与及び利用のガイドライン」を全ての保護者に通知済み。ルールの例として、家庭では保護者の管理の下に使用する。学習に関係のないサイトの閲覧、SNSへの書き込み、画像・動画の配信は禁止する。

問 河南西中の屋根はいつ直すのか。

答 修繕の必要性は認識しており、対応を検討している。

問 前谷地小学校の体育館もだいぶ傷んでいる。プールの改修より先では。

答 老朽化が進んでいることから、優先順位の高い事業であると認識している。同校のプールは以前から更新の予定を計画していたことから、プールから実施する。両施設、着実に事業を進めたい。

河南地区の諸課題について

問 河南地区小規模宅地開発対策事業の今後について見解を伺う。

答 案件の緊急度によって、規定予算での対応や事業の延長による新たな予算化を検討したい。

問 鹿又小学校前の新田町谷地中線の整備内容を伺う。

答 3年かけて、道路沿いの水路にボックスを入れ、その上を歩道として使う。430m×2.5mの歩道を整備する。さらに南側も延伸して整備が必要と判断している。



山口 莊一郎
議員

創生会



- 問** 学校での新型コロナウイルスまん延期のタブレット活用状況は。
- 答** 日常授業で活用しており、約半数の学校で家庭へ持ち帰り学習できる状況である。
- 問** 濃厚接触者は陰性でも2週間の登校禁止となる。オンライン併用授業で学びを保証すべき。
- 答** 教室での対面指導とオンライン授業を並行したハイブリッド学習の準備を進めている。
- 問** 中学校部活動の新人戦開催判断は。
- 答** 保護者のみの観戦（一部で入場人数の制限）とし、今後も可能な限り多くの保護者に観戦してもらえよう努める。
- 問** 地域包括ケアでの市立病院バックアップベッドの状況は。
- 答** 介護用の確保は無いが、在宅診療から入院へ変更となる場合、地域包括ケア病床等で随時受け入れしている。
- 問** 在宅介護ワクチン接種で医療・介護の連携は。
- 答** 寝たきり状態の方等とはかかりつけ医等と連携し、訪問接種を行っている。
- 問** 日赤病院でクラスターが発生した際の出産ポットネット対策は。
- 答** 事態に備え、大崎など他医療圏との連携を図り、適切な運営に努める。
- 問** 石巻市立病院での出国前検査証明を満たす検査は可能か。
- 答** PCR検査は専門機関に委託しているが、出国前2時間以内というタイミング的な課題がある。
- 問** 飲食店テイクアウト料金割引補助を検討しては。
- 答** 需要喚起策は国の交付金対象外となるため、国の各種実証実験の状況を注視していく。



櫻田 誠子
議員

公明会



- 問** コロナ感染症について
- 問** ワクチン接種状況について。
- 答** 65歳以上で2回接種完了89・6%全世代44・8%。10月完了を目指す。
- 問** 障がいのある方へ、利用施設での接種を行ったが接種を行わない施設もあった。
- 答** 障がいのある方の優先的な受付や車いす等の対応をした。施設で接種できる様医師会等と連携した。3回目接種の際にも、障がい者や高齢者の方々へ配慮する。
- 問** 市が木下グループの協力で実施予定のPCR検査は接種不可の方にも有効。学校等のクラスター対策として、検査体制強化が必要。スマホを持たない人へも配慮した接種記録必要。
- 答** 幼、小中学校、市立高に抗原検査キット配布。低学年児童には、採取方法が容易な唾液の検査キット購入を検討。接種記録は国の動向をみる。
- 問** GIGAスクール構想の現状と課題。
- 答** 各学校にて進みに差がないようサポート体制を設けている。チャットの書き込み等で、事故が起きないように配慮し指導に努める。
- 問** 婚姻率の向上について
- 答** 昨年婚姻数は417件今後の取組は。
- 問** 県で「結婚支援センター」を開設。周知する。その他、市として、業種毎の出会いの場等考えていく。入籍時には行政として、お祝いの気持ちを表すなど考えたい。
- 問** 3歳児健診時の見え方検査について
- 答** 健診前の自宅での見え方検査では不十分。
- 問** 国で「屈折検査」の必要性が示されたので、国の動向をみて、検査体制の充実を図る。



阿部 正敏
議員

創生会



- 問** 県道石巻鮎川線整備の進め方について、女川原発再稼働関連議案が採択されたが、変化はあるのか。
- 答** 県からは風越2期工事の早期完了に努め、風越3期や石巻鮎川線全体のあり方を検討している旨伺っている。
- 問** 震災時、寸断し、避難できなかった地域住民の思いを、当局はどの様に捉えているのか。
- 答** 東日本大震災による福島第二原子力発電所事故を目の当たりにしたことや、県道石巻鮎川線整備においても津波の影響で通行不能となり、牡鹿地域全体が一時孤立状態となった経験から、安心安全に避難できるか不安を感じている住民が多くいることも認識している。
- 問** 住民の思いが、しっかり国や県側に伝わっているのか。
- 答** 移動手段の大部分を自動車に頼らざるを得ない半島部に暮らす住民にとって、大変重要な路線であり、生活道路としてはもちろんのこと、いつ何時でも、安心して通行できる道路の整備を願っていることから、地域住民の方々が望む道路整備が、早期に実現されるよう引き続き国や県に対し働きかける。



西條 正昭 議員

創生会



人口減少対策について

問 令和3年8月末日現在、住民登録数は13万9274人、特に半島沿岸部での減少が著しく限界集落へと陥る最悪な状態である。市長の地方創生となる人口減少対策について伺う。

答 平成27年策定の「創生総合戦略」に基づき取り組んで来たが、人口減少抑制に繋がっていない。今後、現状に合った政策や広報活動等、全庁一丸で取り組む。

三陸沿岸道路（利府中〜鳴瀬奥松島間）無料化について

問 三陸沿岸道路「宮城県道路公社」管理区間の無料化が石巻地方の活性化には、必要不可欠である。料金収入が計画より上がっているなら、無料化できないか。多くの人々が活用しやすい道路にすべきと考えるが伺う。

答 借入金償還率は約78%となっている。国において、料金制度の見直しについて議論されている。今後の仙台松島道路のあり方について検討していく旨、宮城県から伺っている。

新田北上川、下流域濁流対策について

問 大雨等の際、ゴミ、流木等が濁流とともに流れ、漁業にも被害が出ている。住民や漁業者から被害対策の要望がある。東日本大震災以降置き去りになっている「北上川濁流対策協議会」等、市の対応について伺う。

答 平成10年に設立した「北上川濁流対策協議会」は、平成30年1月の開催のみとなっている。現状問題や課題等について地元住民・漁業者等のご理解を得られるよう対応していく。



青山 久栄 議員

創生会



震災後に災害危険区域内で市が買い取った市有地のうち、未利用地の面積は122ヘクタールに上る。その維持管理費の削減等のため、地区内居住者が農業利用をした場合に、貸し付け条件を緩和するとともに補助金の創設に至った。このことは、ブレーキを踏み続けながら、アクセルを踏み込むようなもので、効果のほどが疑われる。地区全体の活性化の視点からも市有地と民有地を合わせ、まとまった土地として、条件を付けずに市内外に広く利用希望者を募ることが近道であり、大切なことではないか。

問 震災後に災害危険区域内で市が買い取った市有地のうち、未利用地の面積は122ヘクタールに上る。その維持管理費の削減等のため、地区内居住者が農業利用をした場合に、貸し付け条件を緩和するとともに補助金の創設に至った。このことは、ブレーキを踏み続けながら、アクセルを踏み込むようなもので、効果のほどが疑われる。地区全体の活性化の視点からも市有地と民有地を合わせ、まとまった土地として、条件を付けずに市内外に広く利用希望者を募ることが近道であり、大切なことではないか。

答 まず地元利用、農業利用と考えたが、長面地区など、まとまった土地利用には条件を付けず、企業進出のための条件緩和を協議してまいりたい。

問 北限のオリーブ実証栽培には、一応のめどがついた。事業継承の考えと苗木補助等による市全域での栽培展開を目指せ。

答 オリーブ事業の民間移行のためのプロポーザルを実施し、事業者を選定した。今後も研究会、事業者と連携して、事業を進めていく。苗木補助は1反歩程度の栽培につき、2分の1補助を来年度から実施したい。

問 移住、定住を促進させるためには、本市の魅力のアピールとともに、お試し移住での体験を充実させることが大きな推進力になる。市内各地の空き家を活用して取り組めないか。

答 関係者と協議しながら対応したい。



高橋 栄一 議員

創生会



地域の宝研究開発事業について

問 市ではこれまで復興のシンボルの一つとして、北限のオリーブ栽培の実証試験を行って来たが、今年度、自らの責任で栽培管理を行う経営継承事業者を公募によって決定した。しかし、収量が計画目標の半分程度に留まっている状況のなかで、新たに移植する費用や野生動物対策等に掛かる費用などを考えると、経営継承事業者はスタートからあまりにも大きな負担を背負っているのでは、最低でも2〜3年程度は支援が必要と考えるがどうか。

答 オリーブ栽培の経営継承事業者が置かれている状況は市としても理解しているので、石巻市の復興のシンボルと地域活性化のために貢献して頂けるような支援を今後とも考えていきたい。

企業誘致と雇用の確保について

問 被災地の復興支援を目的として、国が制定した津波原子力補助金と復興特区制度は、企業の復興に大きな役割を果たしたが、この2つの支援制度の延長を国に要請すべきと考えるがどうか。

答 市としても延長の要望を行ってきたが、津波原子力補助金と復興特区制度のどちらも令和5年度末まで延長された。

一般質問



後藤 兼位 議員

創生会



問 新型コロナウイルスワクチン接種の現状と課題を伺う。

答 10月末の接種完了を目指している。3回目のワクチン接種やワクチン・検査パッケージ等を活用した行動制限の緩和について、国の動向を注視し準備を進める。

問 PCR検査の石巻設置を市長は広域的な視点に立ちリーダーシップを発揮すべきだ。

答 県と協議中、周辺市町にも利便性の良い市役所内等に早期設置し安心できるようにしたい。

問 地域資源を活かした観光事業の振興を伺う。

答 DMOが国の認定事業である、地域の食と農泊などを活用したインバンド誘致事業を申請。ホヤを使った料理や郷土料理、農泊の宿泊機能に、観光資源、漁業体験等をつなげた周遊ルートの開発を行い提供する。

問 県が整備している宮城オルレに旭山・遊楽館・齋藤氏庭園・コロナボックスハウス宿泊のコースを登録すべきだ。

答 県と調整して実現する。

問 涌谷町が事務局の平泉町や二市三町で登録されている日本遺産「みちのくGOLD浪漫」に金華山・石巻の追加登録を実現すべきだ。

答 申請にあたり実際に産金や鉱山に係る構成文化財を提案できるように調査を進める。

問 陸前高田や気仙沼の産金は、海路石巻を経て北上川を北上して平泉中尊寺へ届けられたと推察され、産金はじまりの地を結びつけた石巻の地政学的な歴史的存在をもって「みちのくGOLD浪漫」日本遺産追加登録を目指せ。



黒須 光男 議員

無党派



1 中央一丁目14・15番地区における市街地再開発事業について

2 湊東地区買取住宅建設事業について

問 疑惑は、ますますはびこる状況となっております。それを正すには、司法はもちろんのこと、マスコミを含め、市政を憂える人々があらゆる妨害を乗り越えて立ち上がらなければなりません。そのことよって必ず、正義の道が開かれることを期待し、私の質問を閉じたと思います。

議会だよりに掲載されている一般質問の原稿は、議員本人が作成しています。

黒須光男議員が作成した内容のうち「会議録から削除された不適切な発言」は議会だよりに掲載できないため、当該箇所を除いて掲載していません。

広報広聴委員会



起立採決の様子

(起立採決：議長が議題に賛成する者を起立させ、起立者と着席者の多少を目視で確認して可否を決めます。)

起立採決のあった議案に対する各議員の賛否

- (1) 閉会中の継続審査について（第109号議案石巻市立病院倫理委員会条例の一部を改正する条例）
- (2) 認定第1号 令和2年度石巻市一般会計及び各種特別会計決算認定について
- (3) 議会案第2号 6番黒須光男議員に対する問責決議の提出について

議席番号	氏名	(1)	(2)	(3)
1	阿部 浩章	○	○	○
2	佐藤 雄一	○	○	○
3	高橋 憲悦	○	○	○
5	大森 秀一	-	-	-
6	黒須 光男	○	×	退席
7	楯石 光弘	○	○	○
8	奥山 浩幸	○	○	○
9	遠藤 宏昭	○	○	○
10	木村 忠良	○	○	○
11	千葉 正幸	○	○	○
12	櫻田 誠子	○	○	○
13	鈴木 良広	○	○	○
14	青木まりえ	×	○	○
15	星 雅俊	×	○	○
16	青山 久栄	×	○	○
17	阿部 正敏	×	○	○
18	齋藤 澄子	×	○	○
19	阿部 久一	○	○	○
20	丹野 清	○	○	○
21	安倍 太郎	○	○	○
22	阿部欽一郎	○	○	○
23	森山 行輝	○	○	○
24	渡辺 拓朗	○	○	○
25	千葉 眞良	×	○	○
26	山口荘一郎	×	○	○
27	高橋 栄一	×	○	○
28	西條 正昭	×	○	○
29	後藤 兼位	×	○	○
30	水澤富士江	×	○	○
	賛成	17	27	27
	反対	11	1	0

※ ○：賛成 ×：反対

※ 大森秀一議長は採決に加わりません。

※ (3)の採決は、黒須光男議員は当事者のため退席となり、採決に加わりません。

問 責 決 議

第3回定例会において可決された決議の内容は、次のとおりです。

6番黒須光男議員に対する問責決議

黒須光男議員における庁舎内・議会事務局内での議員としての言動等は、職員に対して「高圧的」で「恫喝」とも取れる態度で接している現状である。

先般、議長から各会派会長及び幹事長が議長室に集められ、連日議会事務局内での発言や行動に関して、事務局職員の執務環境が悪化を極めている現状であるとの報告があり、その内容を確認したところ、断じて石巻市議会議員として、あるまじき行為であった。

その報告された内容は、「黒須光男議員が勝手に自ら起こしている裁判内容を執拗に分からせようとする態度」「高声を上げて職員を威圧し通常の業務ができず、業務そのものが滞っていること」「事務局内の事務用品棚を勝手に開け無断でボールペンを持ち去る行為」「事務局職員の席の椅子に勝手に座り続け、挙句の果てには居眠りしている状態」「今議会9月3日の本会議で議員として重要な議案の議決を諮る際に、議席を離れ議案の議決に入らない姿勢は議員としての行使を放棄している現状」「同じく9月8日の環境教育常任委員会審議中に委員であるにもかかわらず、無断で退席し議会事務局に赴き居座り続け、職員から注意を受けてようやく委員会室に戻るような姿勢・態度」であった。

さらには、このような事案に対して正副議長から注意を促した際も、まったく反省する姿勢は見られず、逆に副議長に「真面目にやれ」と暴言を吐く始末。

また、服装に関してもポロシャツ、短パン、スニーカー、帽子着用で議会事務局に出勤し行動している姿は、議員としてのモラルの欠如、強いて言えば議会の品位を失わせているものである。

本日、議長から議会に報告のあった黒須光男議員からの文書においても、議長名で反省、謝罪の文書を求めたことに対して反省、謝罪の文言が見受けられない。黒須光男議員が関わる本書の出来事は事実であり、これらの出来事を我々議員は、絶対に見逃す訳にはいかない。

これらの数々の黒須光男議員の言動は、同じ立場である石巻市議会議員としてとても恥ずかしく由々しき事態であると判断して決断し、黒須光男議員以外の全議員27名の総意として強く猛省を促すものである。

よって、6番黒須光男議員に対し、議員としての責任を強く問うものである。

以上決議する。

第3回定例会で可決した意見書

委員会提出議案第5号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

全国市議会議長会から、新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は巨額の財源不足が避けられない厳しい状況にあることから、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められることから、地方税制の充実確保を求める意見を採択し、国会等に提出するよう依頼がありました。

本市議会では総務企画委員会で意見書を提出することを採択し、9月22日、本会議で意見書提出を可決しました。

(内容)

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 3 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとすること。
- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、
総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣

第3回定例会に提出された陳情

■辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情

(提出者) 「新しい提案」実行委員会 責任者 安里 長従
全国青年司法書士協議会 会長 阿部 健太郎

■沖縄本島南部土砂採取計画撤回に関する陳情書

(提出者) 沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表 具志堅 隆松

■人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請することの陳情

(提出者) 柴田 民雄

※これらの陳情は、全議員へ参考回付しました。

議会改革推進会議によるタブレット研修会



10月4日、議場で議会改革推進会議によるタブレット研修会を開催しました。

各議員は実際にタブレット端末に触れ、詳しい操作方法の説明を受け、会議などで使用する際に必要な機能を体験しました。

タブレット端末の導入を推進し、議会活動と議員活動のどちらにも使用できるよう情報取得の迅速化、情報の共有・携帯性の向上を図る予定です。

議員から市民への説明時など、いつでも・どこでも・過去から最新情報まで、さまざまな資料が活用できるようになり、議員活動の幅が広がることが期待されます。



SDGs研修会

10月15日、防災センターで各議員と市の幹部職員が、SDGs研修会「アフターコロナ 新たな生活様式とSDGsの推進」を聴講しました。

持続可能なまちづくりを目指すSDGsの考え方は、地方創生の実現につながり、復興からその先を見据えたまちづくりについて、認識を深めました。



議会の動き 令和3年

≪7月≫

- 14日 全員協議会
議会改革推進会議
- 15日 岩手県議会行政視察来石
- 16日 宮城県議会行政視察来石

≪8月≫

- 11日 広報広聴委員会
- 26日 宮城県議会大震災復興特別調査委員会
との意見交換会
- 30日 議会運営委員会
議場コンサート実行委員会
- 31日 総合防災対策特別委員会(現地視察)

≪9月≫

- 2日 本会議(開会、提案理由説明)
全員協議会
総務企画委員会
環境教育委員会
保健福祉委員会
産業建設委員会
議会改革推進会議
- 3日 本会議(決算、条例案、予算案等審議)
- 6日 総務企画委員会(現地視察)
- 7日 総務企画委員会(書面審査)
環境教育委員会(現地視察)
- 8日 環境教育委員会(書面審査)
保健福祉委員会(現地視察)
- 9日 保健福祉委員会(書面審査)
産業建設委員会(現地視察)
- 10日 産業建設委員会(書面審査)
- 13日 議会運営委員会
保健福祉委員会
- 15日 本会議(一般質問)
- 16日 本会議(一般質問)
- 17日 本会議(一般質問)
- 21日 本会議(一般質問)
議会運営委員会
- 22日 本会議(一般質問、委員長報告、
追加議案審議、閉会)
議会運営委員会



「みちのくウエストライン」建設促進 市議会連携会議設立総会

8月4日、山形県酒田市役所で本市と酒田市を結ぶ地域高規格道路の早期実現に向け、国、県への要望活動を図ることを目的に沿線4市(本市、大崎市、山形県新庄市、酒田市)で「みちのくウエストライン」建設促進市議会連携会議を設立し、大森議長が会長に選出されました。

※みちのくウエストライン：東北地方で太平洋側と日本海側をつなぐ最短距離で、腰(ウエスト)になぞらえた地域高規格道路「石巻新庄道路」と「新庄酒田道路」で結ぶ路線で、産業・観光振興などにつながるものです。



宮城県議会大震災復興特別委員会との 意見交換会

8月26日、市役所で本市議員と宮城県議会大震災復興特別委員会が「第二期復興・創生期の取組及び課題等について」として、本市における防災集団移転事業移転元地や災害援護資金貸付制度に係る償還金の免除などの現状や課題について意見交換をおこない、復興に係る諸課題に関する認識を共有しました。



本会議・常任委員会を動画で配信しています。

視聴される際は、市議会ホームページの『石巻市議会LIVE中継(生中継)』をご覧ください。

(YouTubeを視聴する環境が必要となります。)



また、本紙面から、各議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問を動画(録画映像)で見ることができます。

(視聴にかかるデータ通信料金などの費用は、ご本人の負担となります。)

次回(令和3年12月)定例会議(予定)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2 本会議 開会 13:00	3 本会議 議案審議 10:00	4
5	6	7 総務企画 10:00 環境教育 13:30	8 保健福祉 10:00 産業建設 13:30	9	10	11
12	13 本会議 一般質問 10:00	14 本会議 一般質問 10:00	15 本会議 一般質問 10:00	16 本会議 一般質問 10:00	17 本会議 一般質問 10:00 閉会	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28 仕事納め	29	30	31	

カレンダーの時間は、開会時間となっております。※時間・日程は変更となる場合があります。

議会の内容を知る

本会議の様子はインターネット(YouTube)で、生中継やこれまでの録画配信をご覧になれます。



YouTube 石巻市議会チャンネル

公式な記録としては、市ホームページや図書館、議会図書室で会議録をご覧になれます。



会議録の検索・閲覧

■第3回定例会ライブ中継の視聴回数 3,170回 (令和3年9月3日～9月22日)
■YouTube録画中継の視聴回数 2,755回 (令和3年7月～9月末)



編集後記

本議会では、令和2年度決算の認定と補正予算などの質疑を行い、議案が可決されました。市民に待たれていた18歳まで医療費無償化が来年度、4月から施行されます。その他に、本市においてもワクチン接種を進めると同時に、PCR検査体制の強化、宿泊療養施設の準備などコロナウイルス感染を広げない対策についても議論がすすめられました。市内でも罹患し苦しんでいる方、事業環境が一変して経済的苦境に陥った企業など、困難な状況にある方々へ広報広聴委員会から、心よりお見舞いを申し上げますとともに、コロナ禍にあって、さまざまな努力をされている多くの方々へ敬意を表します。

日々リスクを負いながら懸命に力を尽くされている医療現場や保健所職員の奮闘に、あらためて深く感謝申し上げます。ワクチンを数多くの方が接種し、集団免疫を獲得して日常に戻ることを望んでおります。広報広聴委員会は、コロナ禍を乗り越えた新しい社会でも、市民の皆さまに手に取ってご愛読いただけるような、紙面づくりを研究し、いっそう改善を重ねてまいります。

広報広聴委員会 委員 齋藤澄子

中止のお知らせ

例年開催していた『議会報告会』、『議場コンサート』は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の開催は中止します。ご了承ください。



DATA 市総人口：139,136人【男：67,589人 / 女：71,547人 / 世帯数：61,996世帯(令和3年9月末日現在)】